

(例の1)

株式会社 河端組 環境 行 動 計 画

平成21年6月17日

取 組 方 針

株式会社 河端組は、『創意工夫、感謝、誠実』をモットーに、建設業で地域社会の安心・安全・発展に寄与しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（自動車燃料・紙使用量の節減）
- ② 現場におけるタバコの吸殻・空缶のポイ捨て禁止
- ③ 現場発生ゴミの縮減
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成21年 6月17日

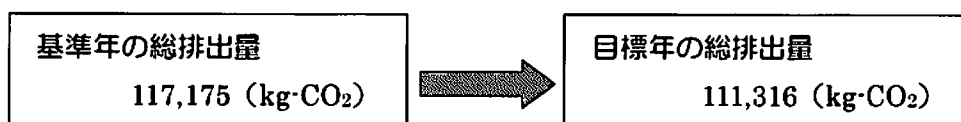
株式会社 河端組

代表取締役社長 坂下 正人

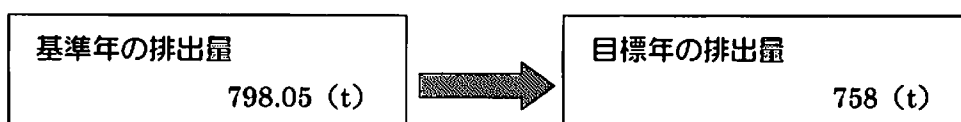
3 環境負荷の低減目標

22年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも20年です。尚、21年度については、目標1～目標3については3%、目標4については1%の低減目標とする。)

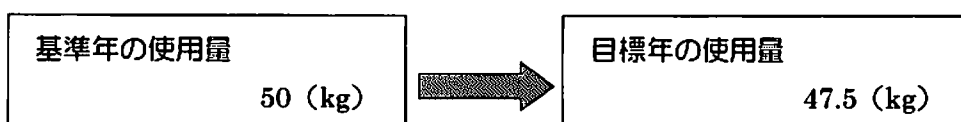
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を5%削減する



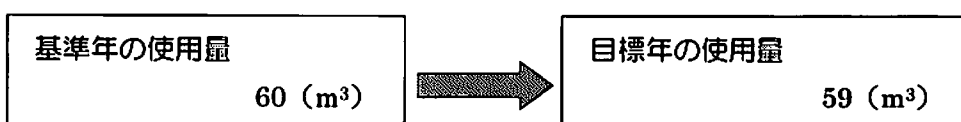
【目標2】 産業廃棄物の排出量を5%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を5%削減する



【目標4】 水使用量を2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(現場での活動)

- ・ 重機は作業の重度によってエンジンの回転数を変える。
- ・ 重機の作業中断時はエンジンを停止する。
- ・ 重機のアイドリングの時間を短縮する。(冬季間のみ)
- ・ 車両の現場への移動は乗り合わせする。
- ・ 車両運転時は制限速度を守り適切なアクセル操作に心がける。。
- ・ 車両のアイドリングはしない。

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ タバコ・空缶のポイ捨てはしない。
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 原則として休日・夜間作業は行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

